

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年4月15日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0893400036		
法人名	社会福祉法人 清河会		
事業所名	サングリーンピア大子ケアセンター	ユニット名	
所在地	〒319-3361 茨城県久慈郡大子町頃藤4144		
自己評価作成日	平成25年9月28日	評価結果 市町村受理日	平成26年4月10日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0893400036-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0893400036-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成25年11月19日	評価機関 決 済 日	平成26年3月31日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

- ・職員が持ち寄った季節の食材の下ごしらえをしていただき、味噌汁やおやつ等で楽しんでいます。
- ・利用者様と一緒にプランターで野菜を育て、毎日の水やりや収穫を楽しんでいます。
- ・月1回以上の外出計画をたて、好みのメニューを自ら選択して外食を楽しんでおります。
- ・施設駐車場周辺のもち草を摘んで「草もち」やふきのとうを摘んで「てんぷら」など自然と触れ合っております。
- ・緑茶、コーヒー、紅茶など嗜好にあった飲み物を、ご本人にお聞きして提供しております。
- ・毎朝職員と一緒に、皆様それぞれ自分好みの道具を持ちフロア掃除を行っています。
- ・フロア内壁には皆様の作品や写真を飾り、ご家族様等来客者が自由に見る事ができます。
- ・職員手作りのゲームで楽しんでいます。
- ・テーブルには常に花が飾ってあり、めだかも育てております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、奥久慈の山々に囲まれ近くには久慈川が流れるなど、季節が感じられる自然豊かな場所に立地している。  
職員は旬の野菜で味噌汁を作ったり、献立に漬物を追加して品数を増やしたりして、食事が楽しめるように支援している。  
ドライブなどに出かける場合には、担当職員が必ず下見をし、利用者の安全を考慮した計画を立てて実施している。  
災害対策の一つとして、電気製品のプラグの抜き差し確認ができる火気自主点検表を作成し、安全確保に努めている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員により作成された理念を事業所内の見やすい場所に掲示、して職員間で常に理念を共有して、理念に添ったサービスの提供を実践しております。	開設時に管理者と職員で話し合い、「家庭的な雰囲気の中で」や「地域との関わりを大切に」などのキーワードを含んだ理念を作成して居間に掲示するとともに、職員は申し送り時に黙読して理念を確認し、共有している。	職員が理念をより深く理解できるように、黙読で理念を確認するだけでなく、話し合っ共有したり、実践ができているか確認する機会を設けることを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の保育園の慰問を受け入れ、歌や踊りなどを一緒に楽しんだり運動会へ出向き玉手箱種目に参加しております。又、長寿会の訪問にて一緒にお茶を飲みながら歓談を楽しんだり、中学校の職場体験なども受け入れ様々な交流の機会を設けております。近隣の中学校のマラソン大会には沿道で応援しております。	定期的にミュージックケアのボランティアが来訪しているほか、バイオリン演奏や日本舞踊のボランティアが来訪している。 近隣にある保育園の園児が来訪し、利用者と交流しているほか、利用者は保育園の運動会に招待され、玉手箱の種目に参加している。 中学生の職場体験を受け入れたり、地域の老人会が主催する交通安全教室の場所として事業所を提供したりしており、利用者も交通安全教室に参加して地域の人々と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	相談等を頂いた方には、認知症についての症状の理解や支援法についてお話をさせていただいております。運営推進会議などで認知症についての話題となった時にも、説明等行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会を構成し、2ヶ月に1度の開催時には事業報告及び委員の方々との活発な意見や情報の交換、質疑応答を行い指導を頂きながら、サービスの質の向上に活かしております。	運営推進会議は家族等の代表や町職員、地域包括支援センター職員、区長、民生委員、老人会会長で2ヶ月に1回開催し、議事録を作成している。 会議では事業所から利用者の様子や運営状況を報告したり、町職員からは制度改正などの説明を受けたりしているほか、時の話題を話し合ったり、委員から出た意見について話し合っており、中学校の体育祭や老人会主催のバーベキューなどの情報を得て参加を検討するとともに、出た意見等を職員で検討し、記録してサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2ヶ月に一度の運営推進会議にて市町村担当者や包括支援センターからの介護保険関連の情報を頂いております。又、窓口にてご利用者様の介護保険認定情報や利用状況の報告など随時行っております。	運営推進会議時において町担当者や地域包括支援センターの担当者より介護保険制度改正の情報などを得ている。 管理者は町福祉課を随時訪問し、利用者の要介護更新認定の情報を得たり、事業所の利用状況を報告したりして良好な関係づくりに努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ご家族様には契約時に重要事項説明書により身体拘束の禁止についての説明を行い同意を頂いております。身体拘束禁止マニュアルを事業所内の見やすい場所に設置して職員がいつでも確認できるようにしております。不審者侵入防止の為、玄関はオートロックになっておりますが、毎日解錠する時間を作り、外を自由に散歩していただいております。	事業所内に身体拘束排除に関するポスターを掲示するとともに、身体拘束排除に関する職員研修を実施し、禁止の対象となる身体拘束の具体的な行為の認識を図っている。 防犯のため玄関はオートロックを採用しているが、散歩など外出の要望がある場合は、職員が付き添って外出ができるよう対応している。 やむを得ず身体拘束をしなければならない場合に作成する同意書や経過観察記録などの書類が整備されていない。	やむをえず身体拘束をする場合に備えて、「身体拘束の同意書」や「経過観察記録」、「検討記録」などの書類を整備することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内外で高齢者虐待防止法等についての勉強する機会を設け、職員間での共通の認識と理解を図れるよう努めてゆきます。職員間でもお互いに日々注意を払い、虐待防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人内外で権利擁護等についての勉強する機会を設け、職員間での共通の理解を深められるよう努めてゆきます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時において、重要事項説明書並びに契約書及び利用料金についての説明を十分に行い、疑問点などにもその都度説明を行い、ご家族様、ご利用者様の理解、納得を得られますよう図っております。内容の変更や改定等の際には事前に文書にてお知らせするよう契約書に明記して契約時に説明しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にご家族様にも参加していただき町職員、民生委員、地域住民代表の方との意見交換の場を作っております。又、無記名での家族様アンケートを実施し、ご家族様の思いを汲み上げ、職員会議で話し合いを行い運営に反映させるよう努めております。	利用者からは日々のふれ合いを通して、家族等からは運営推進会議の出席時や面会時に意見や要望を聴いている。 年1回無記名の家族アンケートを実施して家族等の思いを汲みあげ、職員会議で検討して運営に反映させるように努めている。 毎日牛乳を飲んだり、新聞を読むことを習慣としてきた利用者のために業者と契約を結び、牛乳の宅配を利用したり、新聞を購入したりして、利用者の要望にそえるよう支援している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は月1回の主任会議や職員会議へ参加して、職員からの意見や要望を聞く機会を設けております。又、職員一人ひとりとの対話の機会を作り、意見や要望を聞くよう努めております。	管理者は申し送り時や職員会議、日常の会話の中で職員の意見や要望を聞くよう努めるとともに、職員が意見や提案を気軽に出せるような関係づくりに努めている。 「今までは午前中に入浴支援をしていたが、一般家庭では午前中に入浴はしない」との職員の意見を受け、入浴の時間帯を午後に変更している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年度自己評価シートの提出を行い、職員個々の職場環境や労働条件などに対する意見や希望を参考として、職員各自が向上心を持って働き続けられるよう環境、条件の整備に努めてゆきます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が法人内外の研修に参加できるよう配慮しております。職場研修、勉強会も随時行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人事業所の合同会議を月一回開催して、情報交換や検討会を行い、サービスの質の向上に努めております。町社協主催の研修会にも参加してネットワーク作りに取り組んでおります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始される前にご本人様との面談を行い、会話の中からご本人様の思いを引き出し受け止められますよう、受容と傾聴の姿勢に努めております。不安や要望の一つ一つに細やかな説明を行いながら不安を軽減でき安心して利用していただけますよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用される前の面談や準備段階を通して、ご家族様が不安や要望を気兼ねなくお話していただけますよう傾聴、共感師ながら話しやすい雰囲気、環境作りに配慮して信頼関係の構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始前の面談において、ご本人様及びご家族様の必要とするサービスを見極め、他のサービスや社会資源を必要としている場合には、情報提供などの対応に努めております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様の心身の状態に合わせ、日常生活の中の掃除、洗濯干しや片付け、野菜の皮むきや下ごしらえなどのお手伝いをしていただいております。人生の先輩として尊重しながら多くの会話や行動を共にしてコミュニケーションを取り、共に支えあう関係作りに努めております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様の心身の状態の変化や気付き等、細やかに連絡を取り常に情報を共有しながら支援しております。面会時や必要時には電話にて連絡を密にして常に家族である意識を持っていただけますような関係構築に努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様や知人の面会等は時間制限することなく対応させていただいております。昔から通いなれた理美容院への連絡や送迎、付き添いを行い、馴染みの関係を継続出来ますよう支援しております。新年会や敬老会等の行事開催時には家族へ連絡して出席を促し、家族との時間を作れますよう支援しております。	面会時間を制限することなく、家族等や知人の面会にいつでも対応している。 職員は利用者の行き付けの理・美容院への予約や送迎を行っているほか、町内にある馴染みの店で日用品などの買い物ができるよう付き添っている。 家族等に事業所の新年会や敬老会などの開催案内を配布して参加を呼びかけ、関係が継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係性を把握して、座席の配置に配慮しながら、ご利用者様同士のコミュニケーションが図れますよう努めております。ご利用者様同士が関わりあえ協力しながら行えるレクリエーションを実施しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	特養入所となられた方のご家族様へ連絡をして、様子をお伺いしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の生活の中で、常にお一人お一人の暮らしに対する思いや意向を把握できますよう個々の基本情報や生活歴や把握するよう努めております。又、日々の支援経過記録やご利用者様の表情やしぐさなどから気付いたことを話し合い共有するよう努めております。	職員は利用者の基本情報から生活歴や思いを把握するとともに、日々の生活の中で、しぐさやつぶやいた言葉から思いを推し測り、意向の把握に努めている。 職員は利用者の表情やしぐさなどに変化を感じた場合は支援経過記録に記載するとともに、職員で話し合っって情報を共有するように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	申し込みをされた時点からサービスの利用開始段階においてご本人様やご家族様からの聞き取りにより必要な情報の把握に努めております。又、他事業所との連携を図り情報収集を行い、現状に至るまでの経過等の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活を支援させていただきながら、お一人お一人の有する能力を見極めながら、ご自分で出来る事や援助が必要な事を話し合いを行い、全職員が把握するよう努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画はご家族様、ご本人様の要望をお聞きしながら介護支援経過を基に職員で話し合い作成しております。毎月モニタリングを行い、必要時には見直しを行います。	介護計画は利用者や家族等の意向を取り入れるとともに、支援経過記録を基に課題を把握し、職員で話し合っって作成している。 毎月モニタリングを実施し、1年毎に介護計画を見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の日常生活の様子や変化、気づきなどは個別の生活記録へ記入し、特に重要と思われる事由は「申し送りノート」に記入して、時間差のある出勤時間に必ず目を通す事を義務づけ、職員間で情報の共有に努め実践に活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族ご家族様が対応が困難な時には受診同行や買い物援助など変化するニーズに合わせて柔軟な対応をさせていただきます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人様が安心して毎日を過ごす事ができますよう、主治医や他医療機関、消防署等との連携を図っております。又、日々の生活が楽しみのある豊かなものなれますよう近隣保育園、小中学校、長寿会との交流や行事参加、ドライブ外食、ボランティア慰問の受け入れ等を行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	長年の信頼関係を築いて来られた個々のかかりつけ医への受診継続を支援しております。可能な限りご家族様対応での受診を基本として情報提供しておりますが、ご家族様の都合の付かない時には受診同行して主治医との連携を図っております。その際の受診後は必ずご家族様へ状況報告を行っております。	利用者や家族等が長年信頼関係を築いてきた個々のかかりつけ医への受診を支援しているほか、月1回協力医療機関への定期受診を支援している。 かかりつけ医への受診は家族等の付き添いを原則とし、受診の際には日々のバイタルサインの記録や日常生活情報を提供しているほか、家族等から受診結果を聞いている。 家族等が付き添えない場合は職員が同行し、結果を電話で家族等に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	健康チェックを午前と午後2回行い、体調変動の早期発見に努めております。異常が見られた場合は併設小規模看護師や法人施設看護師に状況を報告し、適切な処置や対応が受けられますよう支援しております。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者が入院となった場合は、安心して治療が出来る、早期退院が出来ますよう、医療機関との情報交換やカンファレンスを開催するよう支援させていただきます。又、状態確認の為、面会等も行い、日頃から医療機関、関係者との連携を図れますよう努めます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所内で終末期ケアのあり方について話し合いや研修を行っておりますが、現段階では看護職員配置体制の検討等を行っております。	「看取りに関する指針」や「終末期介護マニュアル」を作成するとともに、終末期ケアに向けて職員で話し合ったり、研修を実施したりしている。 終末期ケアを実施することを前提に週1回訪問看護師が来訪しており、家族等には書面で周知している。 事業所は今後終末期ケアを実施する予定であるが、利用者や家族等に終末期に向けた事業所の対応方針を説明するまでには至っていない。	契約書や重要事項説明書に終末期に向けた事業所の対応指針を明記するとともに、契約時に利用者や家族等に説明することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご利用者様の急変時の対応について、看護師指導の勉強会やAED使用法の勉強会を実施しております。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署指導の下、つき1回の避難訓練を計画実施し、年1回は消防署員、車両の派遣を要請し、消火訓練を実施しております。その際は地域住民への参加を呼びかけるお知らせを配布し、運営推進会員の協力を得て実施いたしました。	毎月避難訓練を実施し、その中で夜間を想定した避難訓練を実施しているほか、年1回は消防署立会いの避難訓練を実施している。 避難訓練の実施記録を作成するとともに、訓練で明らかになった問題点や反省点を記録に残している。 運営推進会議を通じて近隣住民に避難訓練への参加を呼びかけており、避難訓練のほか消火器による消火訓練に近隣住民の参加を得ている。 災害時に備え、米や冷凍食品、飲料水などを備蓄するとともに、賞味期限などを記載したリストを作成して管理している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全職員がご利用者様お一人お一人を個人として尊重し、尊厳のある言葉掛けや入浴や排泄関係の声掛けは小声で声掛けして、トイレの外で待つなどのプライバシーに配慮して支援しております。個人情報に関する書類は事務所内の鍵のかかるキャビネットに保管しております。	職員は利用者を人生の先輩として敬い、人格を尊重した言葉遣いをしている。トイレ誘導の際は小声で話かけたり、利用者の状態に応じてトイレの外で待ったりするなど、プライバシーに配慮した対応をしている。個人情報に関する書類は事務所の鍵のかかる書棚で保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で言葉掛けの機会を多く持つ事で、ご利用者様の発する言葉に耳を傾け、行動や表情にも気を配るよう努めております。入浴時などご自分で着替えを準備していただいたり、外食時のメニューを自分で決めるなど可能な限り自己決定できるように働きかけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の日課は団体行動を強制することなく、お一人お一人の好みやペースに合わせて過ごしていただけますよう支援しております。ご希望に合わせて、入浴の日にちや順番を変更したり、読書のお好きな方は好きな時に好きな場所で読書を楽しんだり、ソファで休息したり、散歩を楽しまれるなど個々のスタイルで生活されております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合わせてご本人様の好みの衣類を着用できますよう、ご家族様と連絡を取りながら衣類の入れ替えや整理などの支援を行っております。頭髪が伸びたときには馴染みの理美容を利用して好みのスタイルを楽しめますよう支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前の手指消毒や「頂ます」の号令をご利用様の役割とし、歩行可能な方が職員と一緒に車椅子の方や高齢者の方の配膳や下膳、お盆拭きを行うなど役割を持ち協力しております。職員も同じ献立を同じテーブルで会話を楽しみながら、一緒に食事を摂っております。車椅子ご利用のご利用者様にも椅子へ移乗して食事を楽しんでいただいております。	職員は利用者と季節の生花が置かれたテーブルで同じ食事を摂り、食事の様子を見守るとともに食事介助をしている。 利用者はできる範囲で野菜の皮むきなどの下ごしらえや配膳、下膳などの役割を担っている。 1ヶ月おきに利用者が希望するホットケーキなどのおやつ作りを行ったり、ドライブがてら外食に立ち寄り天ぷら蕎麦を食べるなど、食事が楽しめるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日を通じて水分補給の回数を多くとり、十分な水分摂取に努めております。食事摂取量はお一人お一人の好みや習慣に合わせ形状を変えながら調整しております。食自前にはむせり予防の為の嚥下体操を実施しております。夜間容易に水分補給が出来ない方には枕元に準備させていただいております。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを実施しており、自力歩行の可能なご利用様は食後の習慣となり、自ら洗面台へ向かう姿が見られます。義歯使用のご利用者様には夕食後に洗浄剤を使用して洗浄消毒を行い、口腔内清潔保持、肺炎予防に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時の誘導や排泄パターンの把握により、すべてのご利用者様がトイレでの排泄を行っております。入居時に紙おむつや紙パンツを使用していたご利用様を布パンツへ転換する事が出来ています。夜間の安全な排泄の為、ご本人様の希望によりポータブルトイレを使用しての排泄の自立支援を行っております。	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、個人のリズムに合わせてトイレ誘導し、できる限りトイレで排泄ができるように取り組んでいるほか、夜間は居室にポータブルトイレを置き、排泄の自立に向けた支援をしている。 紙おむつや紙パンツ使用から布パンツ使用に改善された事例があるなど、職員は利用者がより快適に過ごせるよう適切な排泄支援に取り組んでいる。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝食にヤクルトを提供、ラジオ体操、健康体操を日課として体を動かす機会を作っています。又、十分な水分摂取を支援して便秘予防に努めています。排泄管理表にて個々の管理を行っております。ご本人様の希望によりバナナを就寝前に摂取されているへの個別支援も行っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	高齢なご利用者様の身体的な負担も考慮しまして週2回の入浴となっておりますが、ご利用者様の状態に合わせ、臨機応変に対応させていただいております。個浴となっておりますのでゆっくりと入浴の時間を楽しんでいただけます。季節により柚子湯なども楽しんでいただいております。	入浴は週2回を基本とし、利用者が希望する時間帯に入浴ができるように支援している。入浴を拒む利用者には、タイミングを見計らいながら再度入浴に誘ったり、声かけの仕方を変えて無理のないように促している。浴室の壁面には利用者の体を支えるための支持棒が10本以上設置されており、車いすを使用している利用者も車いすから離れて入浴を楽しめるよう工夫している。柚子湯や林檎湯を取り入れ、季節感を楽しみながら入浴ができるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様のご希望や体調に合わせて、居室での休息を自由にお取りいただいております。夏場の暑い時期には就寝1時間前にはエアコンのスイッチを入れ適度な室温に、冬場には湯たんぽを準備してお布団を温かくするなど、心地よく眠っていただけますよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お一人お一人の処方箋をお預かりファイルして、個々の服薬状況を全職員が把握して毎日の服薬管理を行っています。点眼薬に関しても漏れや重複が無いようチェック表を作り管理しております。常に状態の変化に気を配り個々の状態把握に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の生活の中で、掃除洗濯干し、洗濯たたみや炊事など個々の能力に応じて役割を持った張り合いのある生活が送れますよう支援しております。玄関脇にベンチを設置して毎日屋外へ出る支援も行っております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎月ご利用者の希望も取り入れてドライブ、外食を実施しております。その際はご家族様へ必ず連絡し了解をいただいております。ご利用者様のご希望により買い物などへも随時お出かけできますよう支援しております。近隣の保育園から招待を受け、運動会にも参加し地域住民の方の援助を受け玉手箱にも出場して楽しんでおります。	職員は利用者の体調に配慮しながら近隣に散歩に出かけ、利用者と一緒にふきのとうやよもぎを摘んだりして季節が感じられるよう支援している。 敷地内にプランターを置いて野菜を栽培しており、利用者が野菜の手入れをしながら、自然と外気にふれられる機会となっている。 毎月外出計画を立て、公用車を使用して奥久慈憩いの森での花見や袋田の滝観光、林檎狩りなどに利用者全員で出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理能力の低下してしまっているご利用者様に対しては、ご家族様と相談の上、事業所において金銭の管理を行い収支報告を行っております。金銭所持をご希望のご利用者様にはご家族様のご理解のもとで、外出時の買い物が出ますよう支援させていただきます。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様の希望により、ご家族様へ電話をして交流を持ち、家族とのつながりを感じ安心して生活していただけますよう支援しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は広いスペースで大きな天窓があり明るい空間となっております。又、大きなガラス窓からは中庭が見え四季を感じることができます。フロアにはソファも備えゆっくり会話や読書など楽しめます。居間は温度を一定に保ちご利用者が心地よく過ごせますよう支援しております。フロアには常に季節の草花や観葉植物を飾っております。	居間兼食堂は温度が一定に保たれているほか、大きな天窓から自然光を取り入れ、明るい空間となっている。 居間兼食堂に食卓を兼ねたテーブルを配置し、利用者同士や職員が会話を楽しむ場になっているほか、壁際にはソファセットを配置し、利用者がいつでも寛げるよう配慮している。 居間兼食堂には観葉植物を置いたり、廊下には林檎狩りの写真や利用者の書道作品などを飾ったりしているほか、居間の入り口には、利用者がいつでも利用ができるよう姿見を配置している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアには大きなテーブルを設置して常に団欒が持てるようになっており、少しはなれたところに小テーブルを設置して自由な座席となっております。壁際にソファとテーブルを置き寛げる空間となっております。屋外にはベンチを備え個々が思い思いの場所で自由に過ごせるようになっております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で長年使用した思い入れのある家具家財、馴染みの品等を自由に持ち込んでいただき、ご本人様やご家族様の好みの居室作りを支援しております。家族の写真やぬいぐるみなど飾られ自宅と同じように生活していただけますよう配慮しております。	居室にはエアコンやベッド、カーテン、収納箱が備え付けられている。利用者は居室に使い慣れたタンスのほか、時計やポットなどの電気製品や家族等の写真を持ち込み、居心地よく過ごしている。利用者が使用する布団は使い慣れたものを持参してもらい、季節の変わり目には家族等に交換してもらっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部には手摺を取り付け自立歩行、安全安心な移動、移乗が出来ますよう配慮しております。又、施設内段差を無くす事で、車椅子使用のご利用者様も自走して自由に思いのままに移動できるようになっております。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 サングリーンピア大子ケアセンター

作成日 平成26年4月10日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員が理念をより深く理解できるよう、黙読で理念を確認するだけでなく、話し合っ共有したり、実践が出来ているか確認する機会を設ける事を期待する。	職員が理念をより深く理解できるよう話し合い実践できているか確認できる機会を設ける。	職員証ホルダーの中に理念を常備して各自が黙読復唱出来る様にする。又、ミーティング時に理念を理解、実践できているか話し合う機会を設ける。	6ヶ月
2	6	やむをえず身体拘束をする場合に備えて、「身体拘束の同意書」や「経過観察記録」、「検討記録」などの書類を整備する事を期待する。	やむをえず身体拘束する場合に備えて、必要な書類を整備する。	法人で使用している書類を参考に、やむをえず身体拘束する場合に備えて早急に必要な書類を作成する。	6ヶ月
3	33	契約書や重要事項説明書に終末期に向けた事業所の対応方針を明記するとともに、契約時に利用者や家族等に説明する事を期待する。	重度化や終末期に向けた事業所の対応方針を定め利用者様やご家族様に早い段階から説明して同意を得る。	重要事項説明書に重度化や終末期に向けた対応方針を明記して、契約の段階からご本人様、ご家族様へ説明をして同意を得る。	6ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。